

# 第II編

# 前期実行計画

## 第1部 重点プロジェクト



# 第1章 重点プロジェクトの目的・位置付け



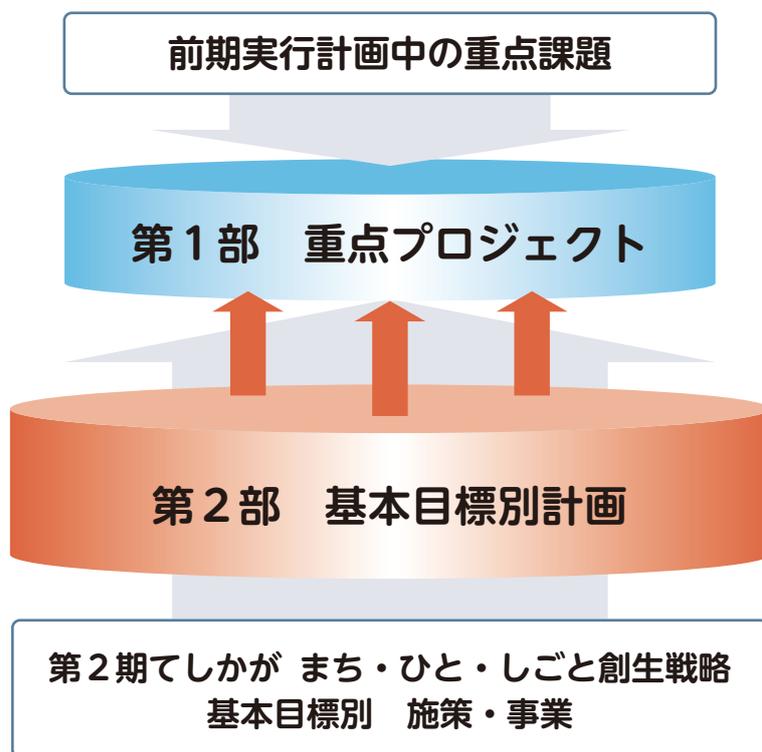
## 第1節 重点プロジェクトの目的

第2期でしかが まち・ひと・しごと創生戦略の方向性と、「第6次弟子屈町総合計画 前期実行計画」で設定された取組内容を踏まえ、「第6次弟子屈町総合計画 基本構想」の基本理念及び将来像の実現に向けて、効果的な取組による、総合計画推進の先導的な役割を果たすものとして設定します。

## 第2節 重点プロジェクトの位置付け

重点プロジェクトは、「まちづくり」「ひとづくり」「しごとづくり」「くらしづくり」及び「行財政運営」の5つのカテゴリーに分けた施策・事業群であり、本計画の期間における重点課題に対応するものです。

また、重点プロジェクトは、「第6次弟子屈町総合計画 前期実行計画」中に位置付けられ、「基本目標別計画」で設定されているとともに、「第2期でしかが まち・ひと・しごと創生戦略」で設定されている「施策・事業」で構成されています。



なお、重点プロジェクトの評価は、「KGI※(重要目標達成指標)」と「KPI※(重要業績評価指標)」に基づき行われます。

※ KGI Key Goal Indicatorの略。「重要目標達成指標」と訳され、最終的に達成すべき目標を表す指標のことをいう。

※ KPI Key Performance Indicatorの略。「重要業績評価指標」と訳され、目標達成に必要なプロセスを具体化するための指標のことをいう。

## ■重点プロジェクトの体系

本計画の実現を先導する重点プロジェクトの体系は、以下のとおりとします。

### 1 「まちづくり」プロジェクト

- ①-1 自然と共生した景感（景観）形成プロジェクト
- ①-2 川湯温泉街再生プロジェクト
- ①-3 中心街再構築プロジェクト

### 2 「ひとづくり」プロジェクト

- ②-1 人財育成活用プロジェクト
- ②-2 アイヌ政策推進プロジェクト

### 3 「しごとづくり」プロジェクト

- ③-1 地熱活用プロジェクト
- ③-2 地域特産品ブランド化プロジェクト

### 4 「くらしづくり」プロジェクト

- ④-1 ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト
- ④-2 ウィズコロナ、アフターコロナプロジェクト

### 5 「行財政運営」プロジェクト

- ⑤-1 財政安定化とふるさと納税プロジェクト

## 第2章 重点プロジェクトの内容と評価指標



### 第1節 重点プロジェクトの目的

重点プロジェクトの内容と評価指標（KGI・KPI）は、以下のとおりです。

#### 1 「まちづくり」プロジェクト

- 「まちづくり」プロジェクトを構成する、
    - ①-1 自然と共生した景感（景観）形成プロジェクト
    - ①-2 川湯温泉街再生プロジェクト
    - ①-3 中心街再構築プロジェクト
- の推進により、「稼ぐ力の増強」を目指します。

KGI（重要目標達成指標）	基準値	目標値
観光入込数	88.8万人（R元年度）	90.0万人（R7年度）

#### ①-1 自然と共生した景感（景観）形成プロジェクト

##### 施 策1：統一感を持った景観づくり

- 街並み景観の統一に向けた、市街地における景観に配慮した建築物の整備促進。
- 魅力ある風景づくりに向けた、農業地における、美しい自然景観と緑肥作付けなどにより創出する農業景観の融和推進。

- 推進事業：●景観改善事業  
●ひまわり植栽事業

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
景観条例違反数	0件（R3年度）	0件（R7年度）
ひまわりの植栽面積（累計）	3ha（R3年度）	15ha（R7年度）

##### 施 策2：大気・水・土壌等の環境の維持

- 摩周湖とその周辺流域の環境保全に向け、摩周湖環境保全連絡協議会参加自治体の連携・協力により摩周湖水質調査の実施と、その取組による地域の振興。

- 推進事業：●摩周湖モニタリング調査事業

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値
摩周湖モニタリング調査の実施	1回/年（R3年度）	1回/年（R7年度）

## ①-2 川湯温泉街再生プロジェクト

### 施策1：川湯温泉街の再整備

■川湯温泉街の再整備に向け、国立公園満喫プロジェクトに基づく廃ホテルの解体促進や、宿泊施設（ホテル）の誘致。

#### 推進事業：●川湯温泉街の再整備事業

K P I（重要業績評価指標）	基準値	目標値
にっぽんの温泉100選（川湯温泉）	59位（R2年度）	30位（R7年度）

### 施策2：ブランドの再強化

■多様化する観光客のニーズに対応し、SNS\*の活用、ファンクラブの創設及び情報発信等による効果的なマーケティング\*とプロモーション\*の強化。

■滞在型観光の推進に向けたアクティビティ\*の開発と充実、及びWi-Fi拡充や電子決済等の環境整備、多言語化情報発信の推進。

#### 推進事業：●デジタルマーケティング等ICT推進事業

K P I（重要業績評価指標）	基準値	目標値
弟子屈なび閲覧数	32万PV（R2年度）	35.2PV（R7年度）



- \* SNS Social Networking Serviceの略。ソーシャルネットワーキングサービス。登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。
- \* マーケティング 消費者のニーズに応じて利益を上げるための取組やそのための仕組みづくりのこと。
- \* プロモーション 顧客や消費者への直接的アプローチによる広告・販売促進活動であり、その購買意欲をあおる活動という意味。
- \* アクティビティ もともと「活動」や「活気」などの意味があるが、近年では自然が豊かなリゾート地や観光地等で楽しむレジャーの総称をいう。

### ①-3 中心街再構築プロジェクト

#### 施策1：中心市街地の再構築による地域商工業の振興

- 中心市街地へのコンパクトシティ化を進めるため、誘導施設となる新複合施設の整備。
- 住民及び観光客を市街地に誘導する仕組みづくり。

- 推進事業：●新複合施設整備事業  
●中心市街地エリアマネジメント事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
新複合施設の整備	0.0% (R2年度)	100.0% (R7年度)
立地適正化計画の策定率	0.0% (R2年度)	100.0% (R7年度)

#### 施策2：域内消費の推進

- 町内店舗や商店街、街並みの改善により、地元での消費購買による地域内経済の循環の促進。
- コミュニティビジネスなどの育成に向け、チャレンジショップ等の起業や出店体験しやすい環境の整備。

- 推進事業：●空き店舗活用促進事業  
●企業振興促進事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
年間商品販売額	8,108百万円 (H28年度)	8,500百万円 (R7年度)
新規事業所	1箇所 (R3年度)	5箇所 (R7年度)



## 2 「ひとづくり」プロジェクト

- 「ひとづくり」プロジェクトを構成する、以下の

- ②-1 人財育成活用プロジェクト
- ②-2 アイヌ政策推進プロジェクト

の推進により、「多くの人を引き付ける魅力の向上」を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
関係人口*数	100.2万人 (R2年度)	156.6万人 (R7年度)

### ②-1 人財育成活用プロジェクト

#### 施策1：子育て環境の充実

- 子育てにかかる経済的負担の軽減。
- 育児の孤立や不安を解消するため、子育てに関する情報の提供及び交流の場の提供。

#### 推進事業：●子育て応援医療費支援事業

- 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
子育て応援医療費支援事業交付遂行率	71.0% (R3年度)	80.0% (R7年度)

#### 施策2：人材が活躍できる仕組みづくり

- 地域づくり活動を支援し、地域づくりの経験をもつ人材の育成、及びその人材が自主的に活躍できる機会の創出。

#### 推進事業：●地域づくり推進事業

- 人材育成支援事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
人材育成支援事業（累計）	350件 (R3年度)	750件 (R7年度)

\*関係人口

特定の地域に継続的に多様な形で関わる人のこと。本町では、観光入込客数、外国人宿泊客数、町HPセッション、ふるさと納税件数、姉妹都市交流者数、弟子屈ふる里会（東京）会員数、札幌弟子屈会会員数等を対象としている。

### 施策3：人・団体・地域のネットワーク形成

- 地域で活躍する人材、団体、地域を結ぶネットワーク化。
- ノウハウを持つ人材・団体・企業などの情報のデータベース化と活用。
- 必要な人材の弟子屈町への定住につながる、地域づくりの担い手としての活動や、都市部との地域間交流の推進。

- 推進事業：●地域おこし協力隊推進事業  
●人財バンク制度事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
地域おこし協力隊員の起業件数 (累計)	8件 (R3年度)	15件 (R7年度)
人財バンク登録件数	14件 (R3年度)	20件 (R7年度)

### 施策4：交流人口及び関係人口の拡大

- 関係人口を増加させ、移住・定住を促進するために、町と関係するさまざまな取組の実施。

- 推進事業：●移住定住促進事業  
●U I Jターン新規就業支援事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
関係人口数	100.2万人 (R2年度)	156.6万人 (R7年度)
U I Jターン新規就業支援事業	0件 (R2年度)	3件 (R7年度)

## 2-2 アイヌ政策推進プロジェクト

### 施策1：アイヌ民族資料館の保全と活用

- アイヌ民族の歴史や文化を伝える資料、展示機能の充実を図るとともに、屈斜路コタンアイヌ民族資料館施設の改修等の実施。
- 来館者増加に向け、一般来館者の利用のほか、児童生徒の学習にも幅広く活用される内容の充実。

- 推進事業：●屈斜路コタンアイヌ民族資料館増改築事業  
●屈斜路コタンアイヌ民族資料館プロモーション事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
屈斜路コタンアイヌ民族資料館増改築整備率	0.0% (R3年度)	100.0% (R7年度)
屈斜路コタンアイヌ民族資料館入館者数	7,179人 (R元年度)	10,000人 (R7年度)

## 3 「しごとづくり」プロジェクト

- 「しごとづくり」プロジェクトを構成する、以下の

### ③-1 地熱活用プロジェクト

### ③-2 地域特産品ブランド化プロジェクト

の推進により、「ブランドの再生・向上」を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
関連ブランド販売額	1億円 (R2年度)	5億円 (R7年度)

### ③-1 地熱活用プロジェクト

#### 施策1：再生可能エネルギーの活用

- 2050年カーボン・ニュートラルの実現に向けて、町内の温泉熱や地熱などの再生可能エネルギー資源の把握と、活用に向けた取組の推進。

#### 推進事業：●地熱資源開発事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
地熱発電を主目的とした生産井の数	0本 (R3年度)	2本 (R7年度)

### ③-2 地域特産品ブランド化プロジェクト

#### 施策1：地域特産品のブランド化と販売強化

- 特産品の地域ブランドとしての定着へ向け、摩周メロン、摩周そば、摩周和牛、葡萄色の旦（ワイン）など既存特産品の安定生産と販路拡大。

#### 推進事業：●摩周メロンブランド化事業

- 摩周そばブランド化強化事業
- 摩周和牛流通対策事業
- 弟子屈ワイン事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
摩周メロン販売高	23,439千円 (R2年度)	25,000千円 (R7年度)
摩周そば販売高	145,686千円 (R2年度)	150,000千円 (R7年度)
摩周和牛の町内取扱い累計店舗数	0件 (R2年度)	5件 (R7年度)
弟子屈ワイン出荷本数	1,652本 (R2年度産)	5,000本 (R7年度産)

施 策 2：弟子屈産チーズの開発

- 弟子屈産チーズの製造拠点の整備と、作り手となる技術者の確保。
- 開発した製品の販売計画の検討と、町内外での販路開拓の推進。

- 推進事業：●弟子屈町産チーズ製造拠点整備事業  
●弟子屈産チーズ販路開拓事業

K P I ( 重 要 業 績 評 価 指 標 )	基 準 値	目 標 値
チーズ製造拠点の整備率	0.0% (R2年度)	100.0% (R7年度)
弟子屈産チーズの販売額	-千円 (R3年度)	10,000千円 (R7年度)



| 地域特産品 マンゴー



| 地域特産品 摩周メロン



## 4 「くらしづくり」プロジェクト

- 「くらしづくり」プロジェクトを構成する、以下の
  - ④-1 ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト
  - ④-2 ウィズコロナ、アフターコロナプロジェクト
 の推進により、「Society5.0\*推進のまち」の実現を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
ユーチューブ、ツイッター、ラインの登録者合計	4,755人 (R3年度)	10,000人 (R7年度)

### 4-1 ICT・IoTを活用したスマートタウンプロジェクト

#### 施策1：情報化推進による住民サービスの向上

- 住民のマイナンバーカード保有の推進により、地域社会のデジタル化を集中的に推進。
- デジタル・ディバイド対策の推進に向け、行政手続・サービスの利用方法等に関する助言・相談等の実施と、窓口での適切な対応。

- 推進事業：●マイナンバーカード普及事業  
●デジタル・ディバイド対策事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
マイナンバーカード普及率	19.9% (R2年度)	40.0% (R7年度)
スマートフォン活用講習会参加者 (累計)	0人 (R3年度)	1,000人 (R7年度)

#### 施策2：行政手続のオンライン化の推進

- 行政手続31項目について、マイナンバーカードによるオンライン手続の検討・推進

- 推進事業：●オンライン手続検証事業  
●システムの検討、更新事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
オンライン手続検証数	0件 (R3年度)	31件 (R7年度)
システム更新数	0件 (R3年度)	20件 (R7年度)

\*Society5.0 Societyとは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を言い、5.0とは、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画においてわが国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。

### 施 策3：スマート自治体の推進

■弟子屈町DX計画の策定と、AI・RPA等のICTを活用した業務プロセスの検討

推進事業：●弟子屈町DX計画策定事業

●AI・RPA等導入事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
弟子屈町DX計画策定	0.0% (R3年度)	100.0% (R7年度)
RPA導入業務数	0 (R3年度)	3 (R7年度)

## 4-2 ウィズコロナ、アフターコロナプロジェクト

### 施 策1：新型コロナウイルス感染症対策

■新型コロナウイルス感染症対策の徹底による、感染リスクの低減。

推進事業：●新型コロナワクチン予防接種事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
新型コロナワクチンの接種率	88.6% (R3年度)	90.0% (R7年度)

### 施 策2：心の健康づくりの支援

■心の健康に関する相談がしやすい環境づくりや、広報紙や講演会・学習会の実施による「心の健康づくり」の知識普及。

■自殺死亡率の低下に向けた、ゲートキーパー\*等の人材育成の推進。

推進事業：●自殺予防ゲートキーパー養成事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
自殺死亡率 (人口10万対)	21.1 (H27~R2年度平均)	14.7 (R7年度)

\*ゲートキーパー 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応 (悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る) を図ることができる人のこと。

## 5 「行財政運営」プロジェクト

- 「行財政運営」プロジェクトを構成する、

### ⑤-1 財政安定化とふるさと納税プロジェクト

の推進により、「財政健全化推進のまち」の実現を目指します。

K G I (重要目標達成指標)	基準値	目標値
財政調整基金残高	2.4億円 (R2年度)	10億円 (R7年度)

### ⑤-1 財政安定化とふるさと納税プロジェクト

#### 施策1：安定的な財政運営と財政見通しの公表

- 財政調整基金への積極的な積立や財源の重点的かつ効率的な配分と、多大な財政負担が発生しない財政健全化の推進。
- 中期財政見通しの公表。

推進事業：● 財政健全化事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
実質公債費比率	16.4% (R2年度)	13.0% (R7年度)

#### 施策2：ふるさと納税の寄附件数及び寄附額の向上

- 寄附件数及び寄附額の向上に向けた、返礼品の更なる充実、協力事業者の拡充、及び企業版ふるさと納税事業の推進。

推進事業：● ふるさと納税新規返礼品開発事業  
● ふるさと納税新規事業者拡充事業  
● ふるさと納税ネットワーク構築事業

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値
ふるさと納税新規返礼品開発数 (累計)	5 (R2年度)	20 (R7年度)
ふるさと納税寄附件数 (累計)	22.5万件 (R2年度)	125.0万件 (R7年度)
まちづくり応援基金	17.6億円 (R2年度)	50億円 (R7年度)